

26PW-am003

毒ガエルアルカロイド179, 207Eの合成

豊岡 尚樹¹, 周 徳軍¹, 古林 創史¹, 恒枝 宏史¹, 和田 努¹, 酒井 秀紀¹,
根本 英雄¹, 笹岡 利安¹, 手塚 康弘², Subehan Subehan², 門田 重利²,
H. Martin Garraffo³, Thomas F Spande³, John W Daly³ (¹富山大学院薬, ²富山大
和漢研, ³N I H)

【目的】 6,7-dehydro-5,8-disubstituted indolizidine 骨格を有する新規毒ガエルアルカロイド, **179**, **207E** のキラル合成を行う。

【実験・結果】 ピペリジン **1** からエナミノエステル **2** に変換後, マイケルタイプの共役付加反応により, 四置換ピペリジン **3** を立体選択的に構築した. 次いで, 側鎖の変換を経てラクタム **4** とし, オレフィン部を導入して **179**, **207E** のキラル合成を達成した. しかしながら合成した **207E** と天然物は一致せず, 提出構造の誤りが判明した. 訂正構造の予測についても述べる.

